

皮膚糸状菌定性検査

検査コード：G0025 検体：検体採取法 皮糸 参照

こんな時には、遺伝子検査で皮膚糸状菌を高感度に検出！

- ・臨床症状からは皮膚糸状菌の感染が疑われるが、培養で分離されない。
- ・抗真菌薬を使う為の、明確な根拠が欲しい。
- ・真菌培養で生えた菌は本当に皮膚糸状菌だろうか。

皮膚糸状菌（イヌ・ネコ）

検査では、PCR法を用いMicrosporium属、Trichophyton属およびEpidermophyton属に属する菌を高感度に検出します。

資料 1

(1) 分離株からの検出

| 菌株 | 検査結果 |
|---------------------|------|
| Microsporium canis | 陽性 |
| Trichophyton rubrum | 陽性 |

遺伝子検査は、原因菌をきちんと検出できる。

(2) 健常動物、環境中（砂・土）からの検出

| 検体 | 検体数 | 検査結果 |
|--------|-----|-------|
| 健常イヌ体毛 | 3 | 検出されず |
| 健常ネコ体毛 | 8 | 検出されず |
| 健常ネコ体毛 | 1 | 陽性 |
| 砂 | 3 | 検出されず |
| 土 | 3 | 検出されず |

偽陽性は、ほとんど排除できる。

(3) 皮膚糸状菌以外の皮膚疾患の動物からの検出

| 症例 | 症例数 | 検査結果 |
|---------------|-----|-------|
| 化膿性皮膚炎（膿皮症） | 3 | 検出されず |
| アレルギー性皮膚炎 | 1 | 検出されず |
| アカラス症（ニキビダニ症） | 1 | 検出されず |
| 甲状腺機能低下症による脱毛 | 1 | 検出されず |

偽陰性は、ほとんど排除できる。

(4) 皮膚糸状菌症と確定診断の得られた症例からの検出

| 症例 | 症例数 | 検査結果 |
|-------------------------------------|-----|------|
| 痒みのない局所の脱毛を主訴に来院した猫、ウッド灯検査により病変部が発光 | 5 | 陽性 |

(1), (2), (3), (4)の結果から皮膚糸状菌症に対して特異的な診断が可能であると考えられる。

(5) 皮膚糸状菌遺伝子検査が診断に有用であった症例

| 症例 | 症例数 | 検査結果 |
|--|-----|-------|
| 臨床症状からは皮膚糸状菌が疑われたが、 真菌培養で陰性であったため診断に困った症例 | 5 | 陽性 |
| 臨床症状（痒みを伴わない脱毛）からは皮膚糸状菌が疑われたが、 ウッド灯で発光しなかった症例 | 4 | 陽性 |
| 臨床症状からは皮膚糸状菌とは異なる疾患を疑ったが、 ダーマキッドによる真菌培養で菌が検出されたため診断に困った症例 | 2 | 検出されず |